

高南小学校 第 4 学年 「 算 数 科 」 シラバス

学年の学習到達目標

除法についての理解を深め、適切に用いることができるようにします。また、小数及び分数の意味や表し方について理解できるようにするとともに、小数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算の仕方を考え、適切に用いることができるようにします。

面積の意味について理解し、簡単な平面図形の面積を求めることができるようにするとともに、角の大きさの意味について理解できるようにします。

図形を構成する要素に着目して、基本的な図形についての理解を深めることができるようにします。

数量やその関係を式やグラフを用いて表したり考察したりすることができるようにするとともに、目的に応じて依存関係を調べたり分類整理したりすることができるようにします。

評価方法

単元ごとの評価規準を設け、
 単元ごとのテスト
 ドリル学習
 授業中の意欲・態度
 ノートのとりかた
 定着学習のまとめプリント
 家庭学習
 などにより、総合的に評価します。

おうちの方へ

授業では、児童の思考の援助として、具体物やプリント等を用意して展開します。
 4年生で学ぶわり算は、2年生で学習した「かけ算九九」が基本です。家庭でもお子さんの九九の暗唱にご協力をお願いします。

毎時間の復習は、確かな理解につながります。復習として、プリントやドリル学習などを宿題として出します。児童への声かけなどにご協力をお願いします。

月	学習すること	学習のねらい
4	大きな数	<ul style="list-style-type: none"> ・整数が、十進位取り記数法によって表されることの理解をいっそう深める。 ・整数を10倍、100倍、10分の1、1万倍にした大きさをとらえることができるようになる。
5	円と球	<ul style="list-style-type: none"> ・円について、中心・直径・半径を知り、コンパスを使って円や模様をかいたり作ったりすることができる。 ・円に関連して、球と球の用語・性質について理解する。
6	わり算 1けたでわるわり算	<ul style="list-style-type: none"> ・整数の除法についての理解を深め、その計算が確実にできるようにし、それを適切に用いる能力を伸ばす。 ・$(2 \cdot 3 \text{位数}) \div (1 \text{位数})$の意味と、筆算のしかたを理解する。 ・$(2 \cdot 3 \text{位数}) \div (1 \text{位数})$の簡単な暗算のしかたを理解する。
7	しりょうの整理	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて資料を集め、分類整理したり、特徴を調べたりすることができる。
9	角 三角形	<ul style="list-style-type: none"> ・角の大きさについて理解し、それを測定することができるようにする。 ・二等辺三角形、正三角形について理解し、作図の仕方がわかる。 ・二等辺三角形、正三角形の角の大きさについて調べたり、その性質を理解したりする。
10	2けたでわるわり算 面積	<ul style="list-style-type: none"> ・整数の除法についての理解を深め、それをを用いる能力を伸ばす。 ・面積の意味について理解し、簡単な場合について面積を求めることができるようにする。 ・公式についての考え方を理解し、公式を用いることができる。
11	小数	<ul style="list-style-type: none"> ・小数の意味とその表し方について理解するとともに、小数の加法及び減法の意味について理解し、それらを用いることができるようにする。
12	かゝ数	<ul style="list-style-type: none"> ・概数の意味を理解し、四捨五入や切り上げ、切り捨てによる概数の作り方がわかる。 ・目的に応じて概数を用いることができる。
1	折れ線グラフ	<ul style="list-style-type: none"> ・折れ線グラフをよんだり、かいたりできる。 ・折れ線グラフの線の傾きから、部分の変化や全体的な傾向を読み取ることができる。 ・折れ線グラフは、2つのものの変化の様子を比べるのに便利であることがわかる。 ・数量の関係を式で簡潔に表したり、それをよんだりすることができるようにする。
2	式と計算	<ul style="list-style-type: none"> ・分数の表し方と仕組みがわかり、分数のよさを知る。 ・真分数・帯分数・仮分数の用語とその意味を理解する。
3	ともなって変わる量 4年のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・伴って変わる2つの数量の関係を表やグラフに表して、変化の特徴を読み取ることができる。 ・学年の既習事項の総まとめをする。